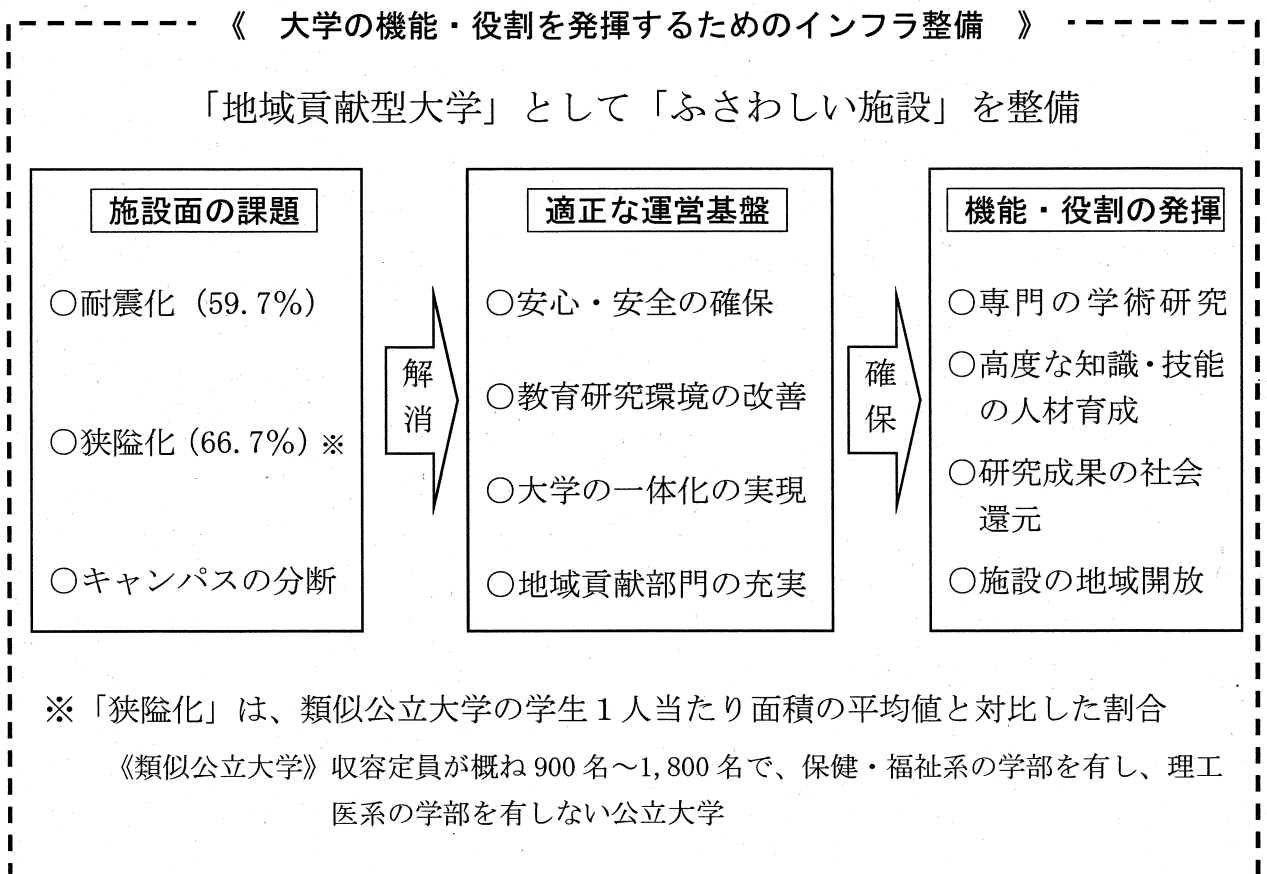


## 山口県立大学第二期整備について

## 1 第二期整備の概要

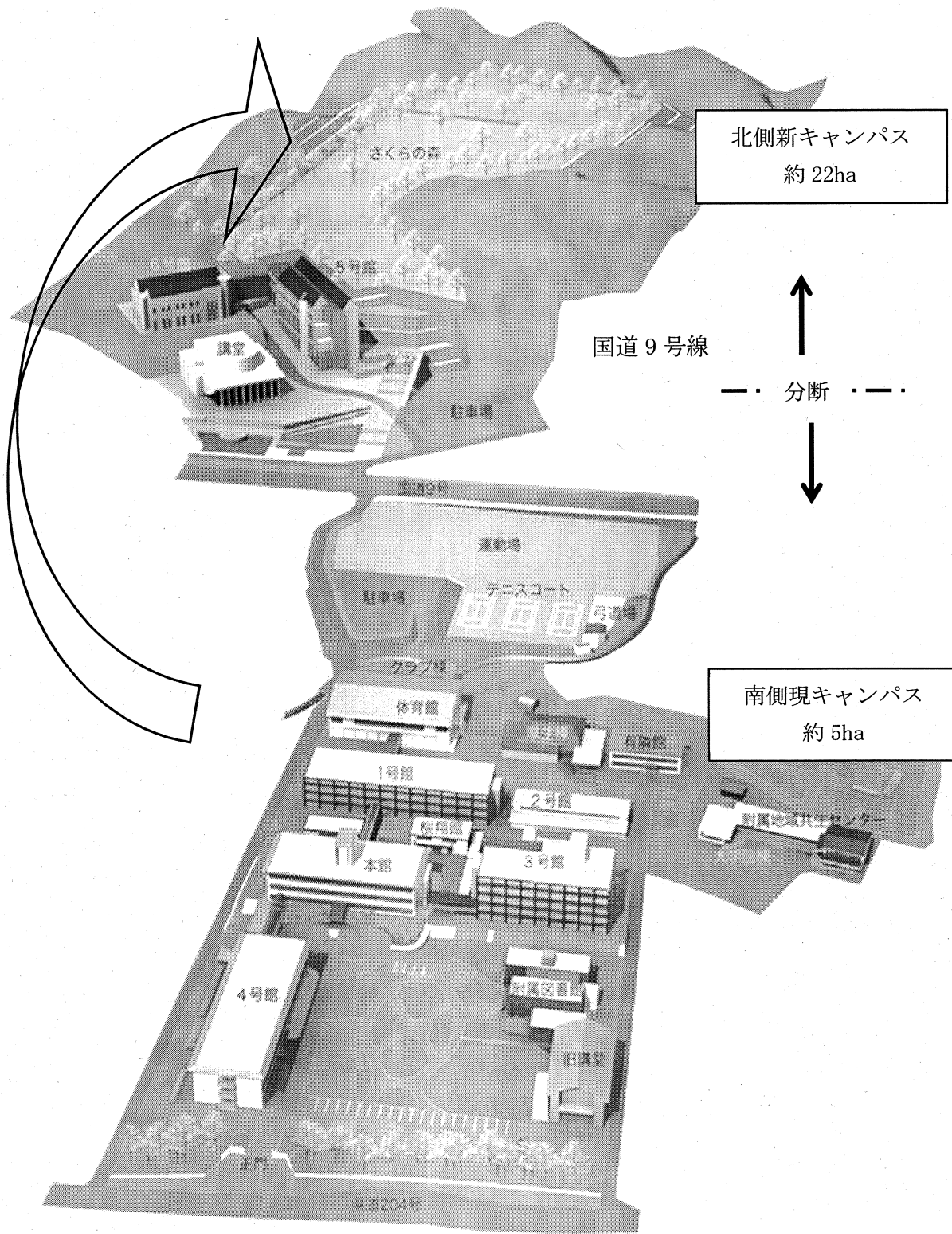
## (1) 目的

県立大学の「医療・福祉や地域の活性化を担う人材の供給」、「社会人のリカレント教育の場」等の役割・機能の発揮をさらに促進するため、現施設が抱える課題解消を図り、適正な大学運営のための基盤を整備する。



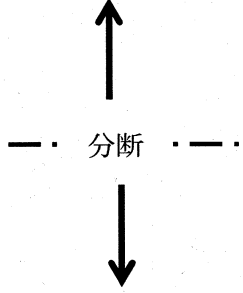
## (2) 概要

- 国道9号線北側（現看護学科棟側：22ha）に、キャンパスを統合移転
- 県民の生活に身近な分野（健康、文化）での学術研究や、高度な知識・技能を有する人材育成の充実に向けた教育研究環境の改善
- 「地域貢献型大学」としての役割・機能の発揮を促進する施設の整備



北側新キャンパス  
約 22ha

国道 9 号線



南側現キャンパス  
約 5ha

4-3204号

## 2 基本設計 (H25.3) の概要

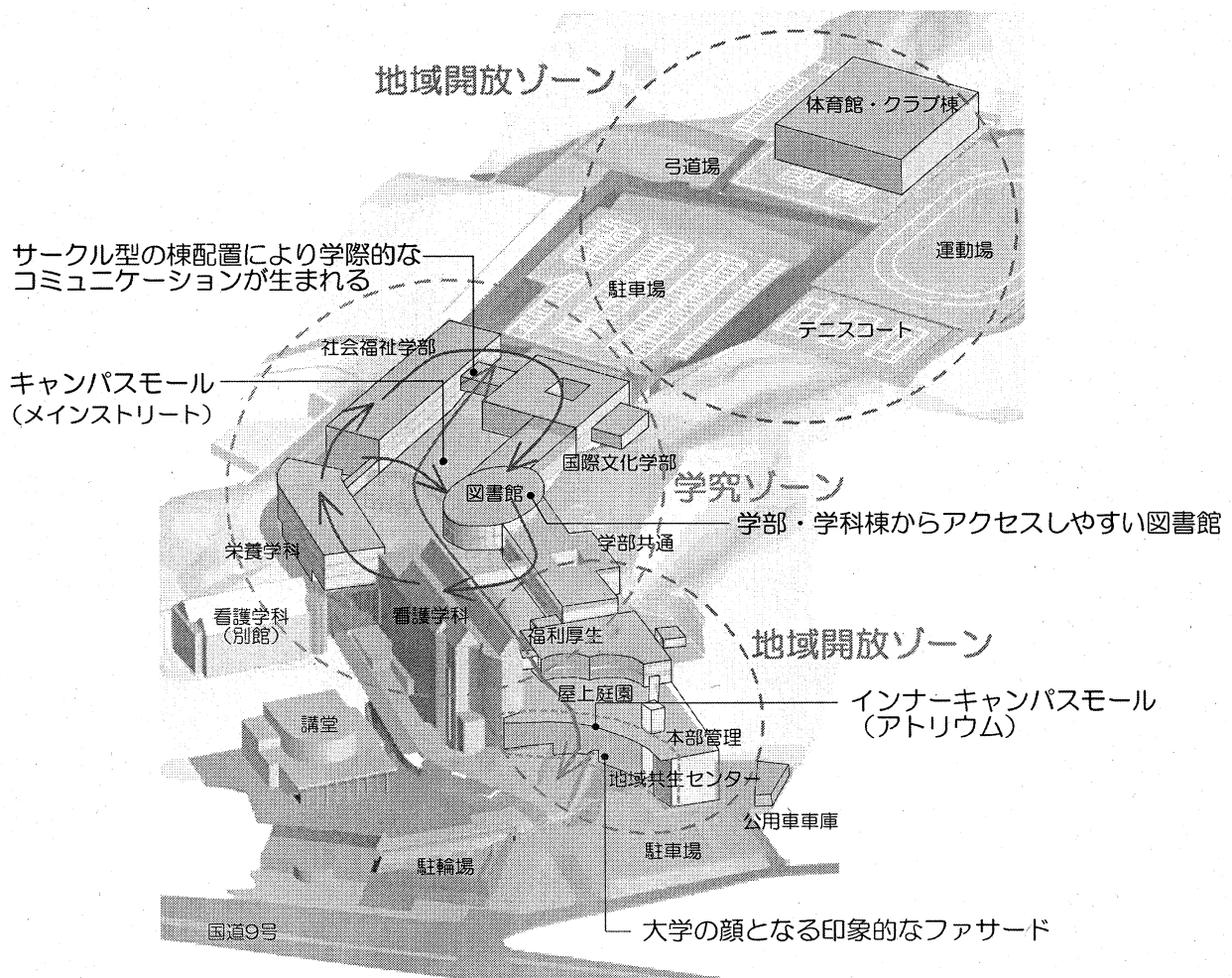
### (1) 基本コンセプト

#### ① 地域に開放され、地域と共生する環境の創造

- ・ 地域マインド豊かな人材の育成や、県民の生涯学習の充実に資する地域一体型のキャンパス
- ・ 地域共生センターを中核とした地域連携ネットワークの創造
- ・ 図書館、体育館、福利厚生棟・地域共生センターは、地域開放型の施設として整備

#### ② ゆとりとのおいがあり学際的な教育研究環境の確保

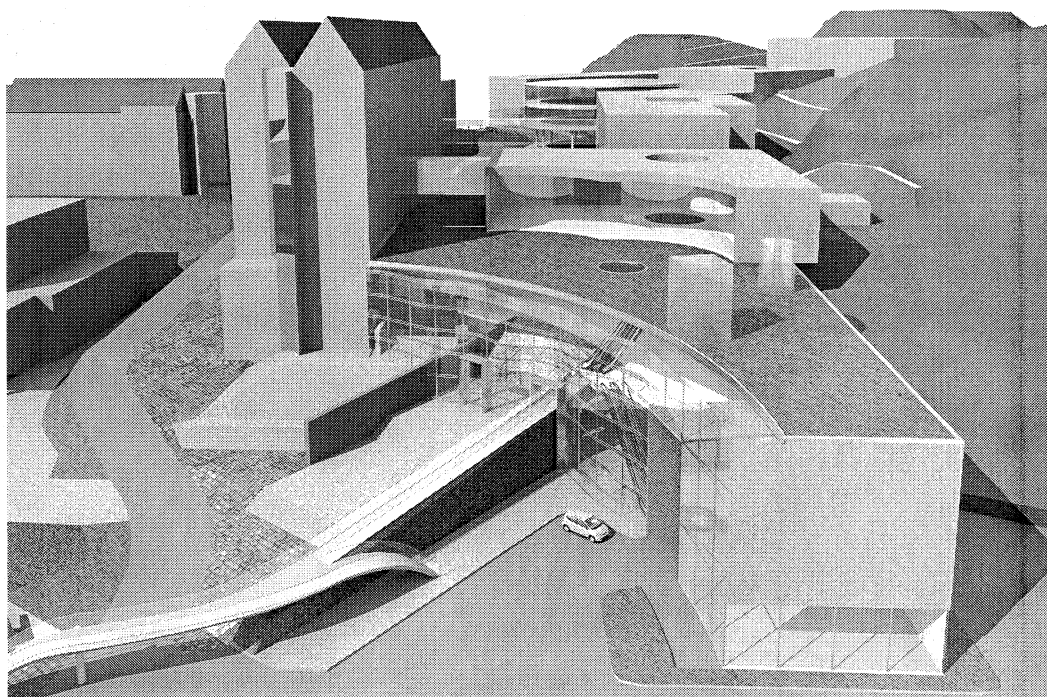
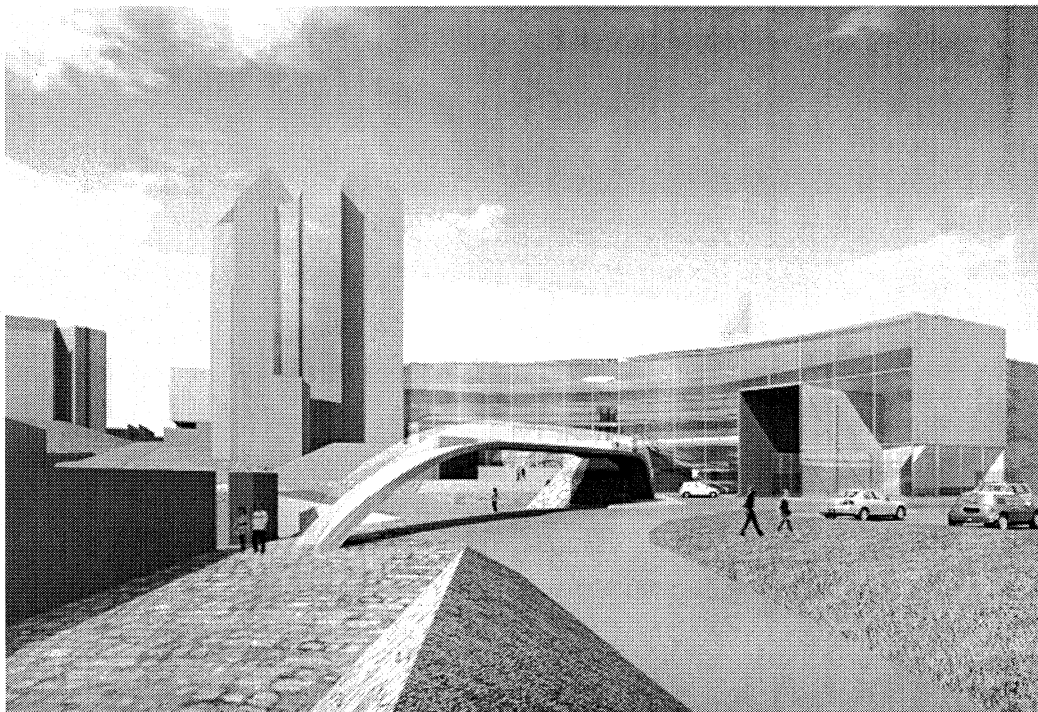
- ・ 学部・学科棟をサークル型に配列し、学際的コミュニケーションを促進
- ・ 教員と学生、学生同士、県民と学生・教員が交流を図る場の提供
- ・ 学生1人あたり床面積 (21.2㎡→33.9㎡※)
- ※ ほぼ類似公立大学並み



注) 講堂、看護学科、看護学科(別館)は整備済み

③ 安心・安全・快適で、未来のニーズにも柔軟に対応できる施設

- ・ 高低差のある敷地に配慮したユニバーサルデザイン計画
- ・ モジュール化や乾式工法の採用によるフレキシブルなキャンパス
- ・ 自然エネルギーの効果的な活用等により、環境負荷の低減に配慮



(2) 整備施設 ★太枠内は今年度工事着工予定施設

名 称	面積 (㎡)
栄養学科棟	4, 300
学部共通棟 (含・大学院)	6, 500
国際文化学部棟	6, 400
社会福祉学部棟	4, 497
図書館	2, 985
体育施設・課外活動施設	3, 338
本部管理・福利厚生・地域共生センター棟	6, 223
駐輪場	645
第二期整備施設計	34, 888
北側既存施設：看護学科棟及び講堂	11, 884
施設面積合計	46, 772

(参考) 現施設面積：31, 825㎡ [うち南側 (移転施設)：19, 941㎡]

3 概算事業費

概ね100億円程度

4 今後のスケジュール

年 度	事 業 内 容
～26年度	栄養学科棟と学部共通棟の実施設計
平成26～28年度	栄養学科棟と学部共通棟の整備

※ 残りの施設については、順次整備を実施 (建設年次は今後検討)

# 全体配置図

